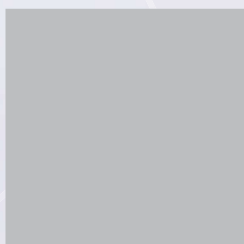
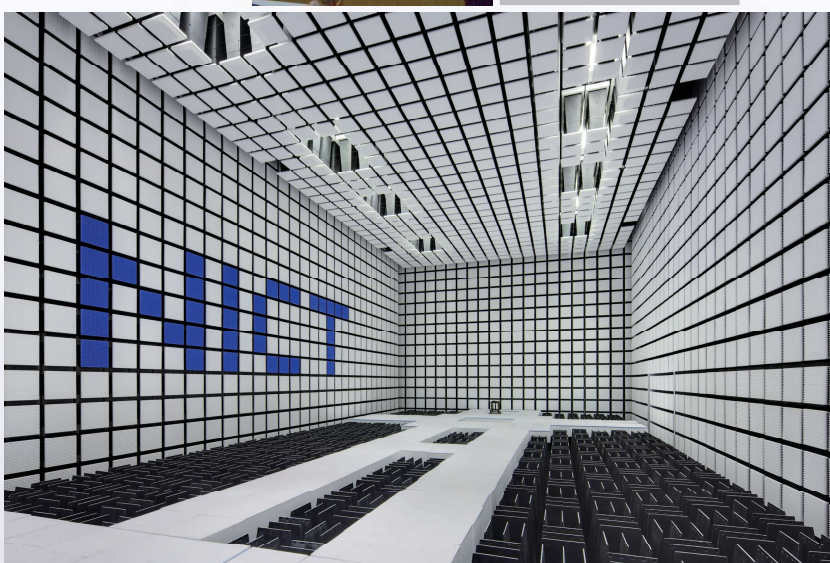
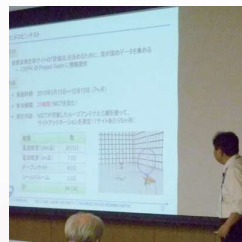




国立研究開発法人情報通信研究機構

NICT/EMC-net ご案内



ホームページ

<https://emc.nict.go.jp/emc-net/>



ご挨拶

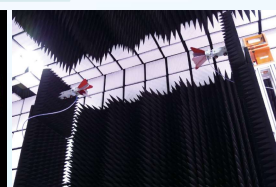
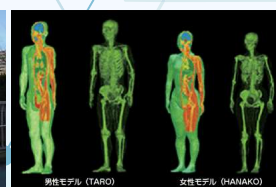
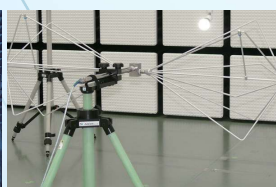
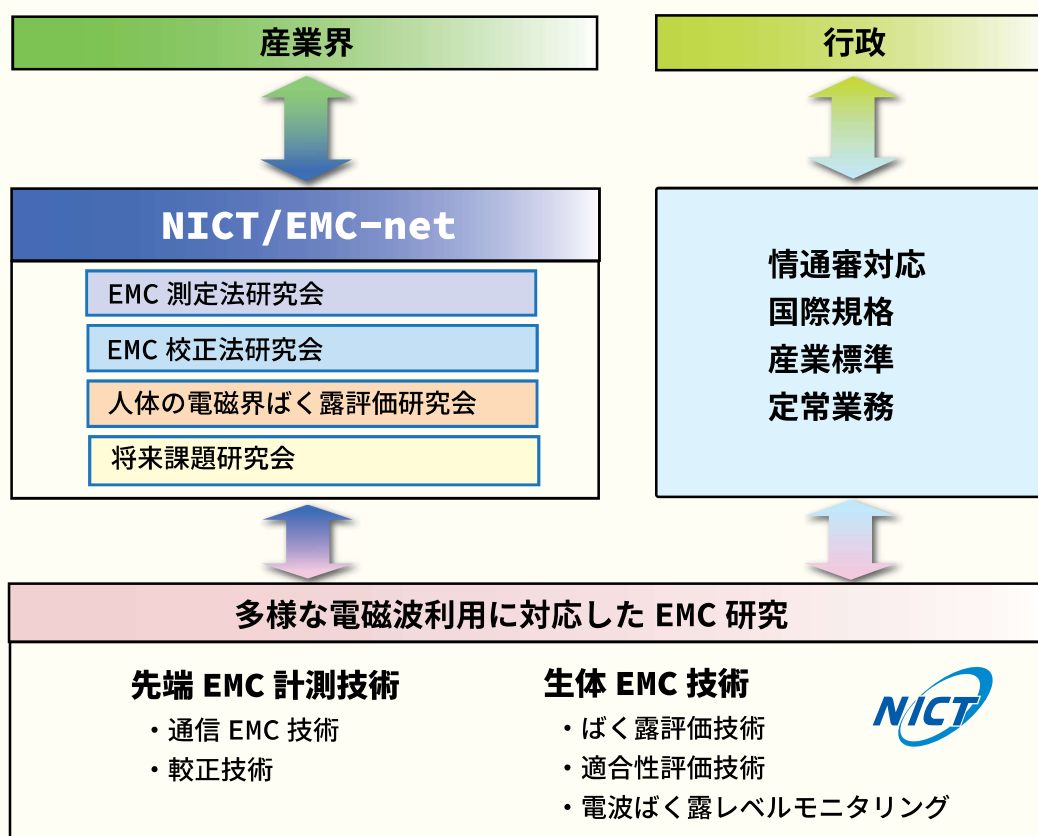
NICT における EMC 研究は、1983 年に郵政省電波研究所に電磁環境研究室が新設されて以来、40 年以上の歴史があります。NICT/EMC-net は、電磁環境研究室の初代室長で、後に東北大学に移られた杉浦行先生が、2007 年に定年退職された際に、わが国の EMC の一層の発展のためには、産・学・官の EMC 関係者が、自由に意見交換のできる場が必要である、という趣旨で設立されました。

NICT/EMC-net は、EMC の様々な課題について、会員及び NICT 職員が、研究会などを通じて情報交換や意見交換を行い、さらに測定調査や見学実習を行うことによって、EMC 関連技術に関する理解を深め、併せて、我が国の EMC 関連技術の向上に役立てることを目的として、設立以来 16 年間にわたり活動を重ねて参りました。

NICT/EMC-net では、いくつかの研究会で EMC の重要な課題を担当し、それぞれの課題を掘り下げて活動しています。これらの研究会は時代に応じて再編されてきました。2016 年には、各研究会の活動範囲を拡張し、我が国が将来取り組むべき電磁環境分野の研究課題について幅広い議論を行うため、新たに将来課題研究会を加えました。

また、各研究会を横断する取り組みとして、NICT/EMC-net シンポジウムを毎年開催し、より広範囲な交流の機会も設けています。EMC は競争よりも協調がより優位な技術分野です。NICT/EMC-net が、EMC 関係者の交流を通してわが国の産業の基盤を支える EMC 技術の涵養の場として活用されるよう、皆様の積極的なご参加を期待いたします。

代表幹事 多氣 昌生



研究会

NICT 職員・会員・外部講師による講演、および情報交換や意見交換を行います。また、個別の問題に関して、調査測定や見学実習を行います。

開催時期は研究会によって異なりますが、各研究会とも年 1～2 回程度開催いたします。なお、希望者多数の場合は先着順になります。

会費・研究会参加費は無料です。

会員は、広く産学官から募集いたします。2016 年度からは、より広い範囲を検討対象に含めるため研究会構成を下記のように改定いたしました。

EMC 測定法研究会

本研究会では、CISPR（国際無線障害特別委員会）で検討されている放射・伝導妨害波測定法、および IEC TC77（電磁両立性技術委員会）で検討されているイミュニティ試験法などを対象として、規格策定・改定審議における背景や要点を紹介し、これらの測定法・試験法の問題点や現場での対応策・改善策等について、幅広い意見交換を行います。

主任 石上 忍（エミッション測定・イミュニティ試験法）1992 年電気通信大学大学院電子工学専攻博士前期課程了。同年～1999 年電気通信大学電子工学科助手。1999 年郵政省通信総合研究所（現 NICT）入所。イミュニティ試験法、TEM デバイスによる EMC 試験法などの研究・業務に従事。2004 年より IEC 国際会議に参加。2016 年 4 月より東北学院大学工学部教授。IEC ACEC、IEC TC77/WG13、JMT MU、CISPR/A WG1、WG2 各エキスパート。博士（工学）。

EMC 校正法研究会

現在 CISPR/SC-A で NICT が議論を主導している放射妨害波測定用アンテナの校正法や妨害波測定場の評価法、高周波測定器や電磁界プローブの校正技術について国際動向や技術的課題を紹介し、uncertainty 評価や実際の校正における問題点などについて広く意見交換を行います。

主任 藤井 勝巳（高周波計測器の校正）2001 年電気通信大学大学院電子工学専攻博士後期課程了。同年～2006 年東北大学電気通信研究所助手。2004 年～2006 年 NICT 短期専攻研究員兼務。2006 年 NICT 入所。EMI 測定用アンテナや高周波電力計等の高周波測定器の校正、電磁波計測に関する研究に従事。CISPR/A WG1、WG2 エキスパート。博士（工学）。

人体の電磁界ばく露評価研究会

携帯電話、RFID や無線電力伝送技術等、近年の電波利用環境の普及・拡大に伴い、電磁界への人体ばく露に対する関心が高まっており、また製品開発においても電波防護指針や国際ガイドラインへの適合性確認が重要になってきています。本研究会では電磁界への人体ばく露に関する研究・開発動向や規制動向等を紹介し、幅広く意見交換を行います。

主任 多氣 昌生（生体電磁気学、環境電磁工学）1981 年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。都立大学助手。同講師、助教授を経て 1998 年同教授。2019 年首都大学東京名誉教授、NICT 入所。電波に対する人体防護、電波ばく露レベルモニタリングの研究に従事。1996～2008 年国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）委員。2000～2023 年電気学会 IEC TC106 国内委員会委員長、2011～2014 年国際電波科学連合（URSI）Commission-K 議長、2013～2023 年総務省情報通信審議会電波利用環境委員会主査。工博。

将来課題研究会

上記 3 研究会を含む電磁環境技術分野において今後我が国が取り組むべき重点的研究課題について、技術トレンドや国際動向も踏まえて幅広い議論・意見交換を行います。

将来課題研究会は、検討テーマによって幹事会構成員が適宜担当して開催いたします。

シンポジウム

シンポジウムは、毎年 1 回開催します。

シンポジウムでは、EMC の役割が重要となると考えられる先端技術や、研究会を横断する課題を主に取り上げます。また、研究会の活動報告を行います。

その他、一般に対する講演会やセミナーも適宜開催いたします。

代表幹事	多氣 昌生	NICT 電磁波研究所 上席研究員
副代表幹事	後藤 薫	NICT 電磁波研究所 電磁波先進・基盤研究センター 電磁環境研究室
幹事	長岡 智明	NICT 電磁波研究所 電磁波先進・基盤研究センター 電磁環境研究室
幹事	石上 忍	東北学院大学 工学部 電気電子工学科 教授
幹事	呉 奕鋒	NICT 電磁波研究所 電磁波先進・基盤研究センター 電磁環境研究室
幹事	藤井 勝巳	NICT 電磁波研究所 電磁波先進・基盤研究センター 電磁環境研究室
幹事	浜田 リラ	NICT 電磁波研究所 イノベーション推進部門 受託研究推進室
幹事	チャカロタイ	
	ジェドヴィスノブ	NICT 電磁波研究所 電磁波先進・基盤研究センター 電磁環境研究室
幹事	大西 輝夫	NICT 電磁波研究所 電磁波先進・基盤研究センター 電磁環境研究室
幹事	水野 麻弥	NICT 電磁波研究所 電磁波先進・基盤研究センター 電磁環境研究室
幹事	清水 悠斗	NICT 電磁波研究所 電磁波先進・基盤研究センター 電磁環境研究室
幹事	松本 泰	NICT 電磁波研究所 電磁波先進・基盤研究センター 電磁環境研究室
アドバイザー	渡邊 聡一	NICT 広報部
アドバイザー	山中 幸雄	NICT 電磁波研究所 電磁波先進・基盤研究センター 電磁環境研究室
アドバイザー	和田 修己	京都大学 名誉教授
顧問	和氣 加奈子	NICT 電磁波研究所 研究所長

お問い合わせ

NICT/EMC-net 事務局

〒184-8795 東京都小金井市貫井北町 4-2-1

国立研究開発法人情報通信研究機構 電磁波研究所

電磁波先進・基盤研究センター 電磁環境研究室内

E-mail: info-emcnet@ml.nict.go.jp URL: <https://emc.nict.go.jp/emc-net/>